平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年８月14日

上場会社名　　株式会社エムアップ　　上場取引所　東
コード番号　　3661　　ＵＲＬ　http://www.m-up.com/
代表者　　（役職名）代表取締役　　（氏名）美藤　宏一郎
問合せ先責任者　（役職名）取締役　総務経理部長　　（氏名）藤池　季樹　　ＴＥＬ　(03)5467-7125

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

百万円未満切捨て

１．平成26年３月期第１四半期の業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	956	－	93	－	110	－	90	－
25年３月期第１四半期	－	－	－	－	－	－	－	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	13.00	11.86
25年３月期第１四半期	－	－

※当社は、平成25年3月期第１四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第１四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成25年3月期第１四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第１四半期	2,297	1,370	59.4	202.51
25年３月期	2,298	1,468	63.9	218.23

（参考）自己資本　　26年３月期第１四半期　　1,364百万円　　25年３月期　　1,467百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	0.00	－	17.25	17.25
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		0.00	－	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	5.2	650	8.2	650	8.2	390	4.3	60.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

当社は、予算編成を通期ベースで行っており、業績の進捗管理及びその評価は通期でのみ実施しているため、第２四半期累計期間における業績予想は開示しておりません。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	6,739,600株	25年３月期	6,724,800株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	86株	25年３月期	86株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	6,730,894株	25年３月期１Ｑ	6,506,060株

平成24年８月１日及び平成25年１月１日付でそれぞれ普通株式１株につき２株の株式分割を行っています。上記の株式数は、前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算出しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社の連結子会社でありました株式会社エムアップAEは、平成25年５月に当社に吸収合併されたことにより、当第１四半期累計期間より連結財務諸表非作成会社となります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
第１四半期累計期間 …… 7
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間における我が国の経済は、各種政策の効果が発現する中で、企業収益や雇用、所得環境が改善しており、それらを背景として個人消費も持ち直すなど、景気を下押しするリスクは依然として残るものの、自律的回復へ向けた動きが見られております。

一方、当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、従来からの携帯電話端末やＰＣ端末を通じたインターネット利用に加えて、スマートフォンやタブレット端末の利用が拡大し、また、高速モバイル通信の普及等に伴うインターネットの利用環境の整備が進むなど、今後も安定的な成長が期待されております。

携帯電話契約数は、平成25年６月末現在で１億3,329万台（前年同月比6.0%増）と、継続的に増加しておりますが、人口普及率は100%を超え、市場は成熟期を迎えております（出所：社団法人電気通信事業者協会）。その一方で、平成24年末におけるスマートフォンの普及率は、前年より20.2ポイント増加し49.5%に達するなど、より一層の普及が進んでおり、スマートフォンやタブレット端末を通じたインターネット利用も急拡大しております（出所：総務省）。加えて、次世代の高速通信規格であるLTEに対応する端末の標準化も進んでおり、それらを牽引役とし、モバイル環境でのインターネット市場は再活性化しております。

音楽ソフトの市場動向といたしましては、平成25年上半期（１月から６月）におけるオーディオレコードと音楽ビデオ合計の生産数量が122,631千枚（前年同期比2.2%減）、生産金額では133,050百万円（前年同期比2.7%減）となり、概ね前年と同程度の水準で推移しております（出所：一般社団法人日本レコード協会）。また、コンサートの市場規模につきましては、平成24年の市場規模が170,144百万円（前年同期比6.6%増）となり、音楽に対する底堅い需要が見られております。

このような外部環境の中、当社は、音楽のオールインワンビジネスを推進すべく、ファンクラブサイトを事業の軸とし、ファンとアーティストをより有機的に繋ぎ合わせることにより、事業間でのシナジー効果を発揮させることのできる事業体制の構築に努めてまいりました。その基盤となる有料会員につきましては、新規コンテンツの獲得と投入や、公式サイトの開設に引き続き注力し、基盤の拡大を図ってまいりました。また、株式会社エムアップＡＥの吸収合併によって、将来的な事業運営の効率化を目的とする、事業ノウハウの共有や運営の共通化を進めてまいりました。

普及が進むスマートフォンへ向けた取り組みといたしましては、スマートフォン向けの新規コンテンツサービスを今後の当社の重要な月額会員制サイトと位置づけ、積極的にコンテンツを投入し、有料会員数の増加に努めるとともに、キャリアの主導するスマートフォン向けコンテンツサービスへの参入によって、新規会員獲得のための間口も拡大することができました。

携帯及びＰＣコンテンツ配信事業でファンクラブサイトを展開するアーティストを中心としたＣＤ、ＤＶＤ及びブルーレイといった音楽映像商品等の直販事業につきましては、サイトオリジナルの商品や、独占販売商品の展開によって、サイトの認知度の向上と利用促進を図ってまいりました。

以上の結果、当第１四半期累計期間における売上高は956百万円、営業利益は93百万円、経常利益は110百万円、四半期純利益は87百万円となりました。

セグメントごとの概要は、以下のとおりであります。

①携帯コンテンツ配信事業

携帯コンテンツ配信事業につきましては、顧客基盤の拡大を図るべく、新規アーティスト等の獲得と、そのファンクラブサイトの開設に引き続き注力してまいりました。

利用者の増加するスマートフォンへ向けた取り組みといたしましては、すでにスマートフォン対応を完了させたキャリア公式サイトへのフィーチャーフォン会員の移行を進めるとともに、スマートフォン向けのコンテンツサービスにも参入、積極的なコンテンツの投入を行い、コンテンツカテゴリーの利用者数ランキング上位を獲得するなど順調に有料会員を増加させてまいりました。

加えて、「マチ★キャラとり放題 for スゴ得」（しゃべってコンシェル™対応）及び「韓流大好き！ for スゴ得」を、NTTドコモの月額使い放題のスマートフォン向けサービスである「スゴ得」へと提供し、新たな収益機会の確保にも努めてまいりました。

以上の結果、当第１四半期累計期間における携帯コンテンツ配信事業の売上高は634百万円となりました。一方で、スマートフォン向けコンテンツ制作に関する先行投資などにより、セグメント利益は144百万円となりました。

②ＰＣコンテンツ配信事業

ＰＣコンテンツ配信事業につきましては、アーティスト及びタレント等の有料ファンクラブサイトにおいて、パッケージ商品やコンサートチケットの先行販売などを実施し、会員の維持、拡大を推進してまいりました。また、アーティストだけではなくスポーツ選手などのオフィシャルサイトの受託制作など、他の事業セグメントも

含め、将来の新たな収益の獲得と拡大に繋がることを見据えた事業展開を行ってまいりました。
以上の結果、当第１四半期累計期間におけるＰＣコンテンツ配信事業の売上高は42百万円、セグメント損失は4百万円となりました。

③eコマース事業

ｅコマース事業につきましては、ＣＤ、ＤＶＤ及びブルーレイの音楽映像商品の直販事業が引き続き堅調に推移いたしました。ファンクラブサイトを通じた音楽映像商品の直販事業の先駆けとして、サイト限定や、オリジナル商品取り扱い、購入特典の付与によって、認知度の向上と利用促進を図ってまいりました。加えて、大手レコード会社との協業による音楽映像商品やコンサートチケット、アーティストグッズを販売するオフィシャルＥＣサイトにつきましては、取り扱うアーティストや商品数の拡大と取扱高の増加を図るべく、これまでの提携先に加えて、新たに１社の大手レコード会社と提携を行い、当社でファンクラブサイトを運営するアーティスト以外の商品販売を行う体制を整備、構築し、また、商品ラインナップの充実にも努めてまいりました。
以上の結果、当第１四半期累計期間におけeコマース事業の売上高は279百万円、セグメント利益は39百万円となりました。

（注）当社は、前第１四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、平成25年５月付で連結子会社株式会社エアップＡＥを吸収合併したため、連結財務諸表非作成会社となりました。したがいまして、当第１四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

（２）財政状態に関する説明

（資産の部）

流動資産は1,547百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金212百万円、売掛金813百万円、商品251百万円であります。
固定資産は750百万円となりました。主な内訳は、のれん98百万円、投資有価証券422百万円であります。
この結果、総資産は2,297百万円となりました。

（負債の部）

流動負債は906百万円となりました。主な内訳は、買掛金607百万円であります。
固定負債は20百万円となりました。

（純資産の部）

当第１四半期会計期間末の純資産は1,370百万円となりました。主な内訳は、資本金187百万円、資本剰余金214百万円、利益剰余金1,031百万円であります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後における我が国の経済は、回復へ向けた動きが続くと期待されるものの、海外景気の下振れが懸念されるなど、景気を下押しするリスクは依然として残っております。
また、当社の属するインターネット関連市場につきましては、急速なスマートフォンの普及が継続しており、従来からの携帯電話端末向けコンテンツ配信もスマートフォンへの対応と移行が本格化するなど、市場は大きな転換点を向かえております。そのため市場環境の変化は早く、かつ大きいため、それらの当社事業に与える影響の測定は困難な側面もあります。
こうした事業環境の中、当社はすでに既存サイトのスマートフォン対応は完了しており、従来からの携帯電話端末向け公式サイトの会員のスマートフォンサイトへの移行を進めております。加えて、新たに開設したスマートフォン向け公式サイトについては、積極的なコンテンツ獲得や制作と投入によって新規有料会員の獲得を推進しております。また、ファンクラブサイトを運営するアーティストのＣＤ、ＤＶＤ及びブルーレイといった音楽映像商品の直販や、大手レコード会社のオフィシャルＥＣショップを通じた商品展開に引き続き注力し、販売は堅調に拡大しております。費用面では、販売の拡大に比例し増加するロイヤリティ等や、スマートフォン向け公式サイトの会員獲得のための広告宣伝費用の増加を見込んでおります。
この結果、平成26年３月期の業績予想として、売上高4,500百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益650百万円（前年同期比8.1%増）、経常利益650百万円（前年同期比5.7%増）、当期純利益390百万円（前年同期比4.1%増）を予想しております。

しかしながら、売上高に占める割合の大きい音楽映像商品につきましては、レコード会社における年度後半のリリース計画が未定であるため、それらが確定し次第、当社の業績見通しも見直すことを予定しております。

そのため、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期累計期間における重要な子会社の異動

当社は、前第１四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、平成25年５月付で連結子会社株式会社エアップＡＥを吸収合併したため、連結財務諸表非作成会社となりました。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	257,265	212,240
売掛金	601,354	813,942
商品	296,534	251,603
1年内回収予定の長期貸付金	152,400	166,000
繰延税金資産	40,123	37,568
その他	47,015	76,319
貸倒引当金	△3,696	△10,399
流動資産合計	1,390,997	1,547,275
固定資産		
有形固定資産	46,525	45,810
無形固定資産		
のれん	－	98,832
その他	59,934	53,715
無形固定資産合計	59,934	152,548
投資その他の資産		
投資有価証券	314,380	422,281
関係会社株式	360,018	－
長期貸付金	112,600	62,000
繰延税金資産	1,069	52,748
その他	63,318	65,021
貸倒引当金	△50,000	△50,000
投資その他の資産合計	801,387	552,051
固定資産合計	907,848	750,410
資産合計	2,298,845	2,297,685
負債の部		
流動負債		
買掛金	543,659	607,887
未払法人税等	120,524	40,307
賞与引当金	24,360	17,148
役員賞与引当金	30,000	7,500
その他	95,527	233,301
流動負債合計	814,072	906,144
固定負債		
資産除去債務	11,686	11,726
その他	4,714	9,029
固定負債合計	16,400	20,756
負債合計	830,473	926,901

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,304	187,969
資本剰余金	212,571	214,236
利益剰余金	1,059,777	1,031,309
自己株式	△48	△48
株主資本合計	1,458,605	1,433,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,914	△68,618
評価・換算差額等合計	8,914	△68,618
新株予約権	853	5,935
純資産合計	1,468,372	1,370,784
負債純資産合計	2,298,845	2,297,685

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	956,583
売上原価	682,140
売上総利益	274,442
販売費及び一般管理費	180,979
営業利益	93,463
営業外収益	
受取利息	1,446
受取配当金	77
有価証券売却益	21,117
その他	452
営業外収益合計	23,093
営業外費用	
貸倒引当金繰入額	5,969
営業外費用合計	5,969
経常利益	110,588
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	26,242
特別利益合計	26,242
税引前四半期純利益	136,830
法人税、住民税及び事業税	38,543
法人税等調整額	10,753
法人税等合計	49,297
四半期純利益	87,533

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当第１四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	携帯コンテンツ配信事業	ＰＣコンテンツ配信事業	eコマース事業			
売上高						
外部顧客への売上高	634,012	42,591	279,979	956,583	―	956,583
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	634,012	42,591	279,979	956,583	―	956,583
セグメント利益又はセグメント損失(△)	144,095	△4,998	39,869	178,966	△85,503	93,463

（注）１.セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△85,503千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

２.セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。